

山田みやこの活動報告

令和8年7月9日(木)

女性の政治参画セミナーに参加

女性が進出しづらい日本の仕組み

～選挙制度・地方議員が抱える課題～

主催 市川房枝記念会女性と政治センター

女性参政権行使80年の節目の年、更なる女性の政治参画を進めるために、女性議員を増やすこと、安定した活動に向けて、選挙制度や地方議会が抱える課題・障壁を取り除く方策を検証

講師 河村 和徳 拓殖大学政経学部教授

- ・地方議員のなり手不足
議会のセクハラ・パワハラ
子連れ選挙は男性中心ということから脱却すれば有利に
しかし、対立陣営から攻撃されることもあり、
議員は職業でなく地位、
女性議員が不在の時、選挙制度の家父長制度に則ってできた
- ・近年の地方議員選挙
子育て世代の候補や女性候補がトップ当選する
事例がしばしばある
選挙組織の高齢化、コミュニティの衰退
⇒子育て、女性など差別化のしやすさ
活動層の増加で期待票が集まる
血縁組織でなく、目的組織が重要なカギ
- ・日本の民主主義を支える仕組みの特徴
日本は戦前の仕組みが残り、選挙運動の規制がある
新しくできた制度の国は、
デジタル化を意識した仕組みになっている、
日本は紙の文化
- ・女性が進出しづらい要素
 - ・女性が議員になるという前提で、制度を含めてデザインされていない
 - ・個人中心の選挙の仕組みのため、資力のある世帯主（男性）が有利
 - ・ただし、ネットワークの多様化に活路はある（多様な意見をきける環境）
- ・なり手不足はなぜ
候補者プールに女性や若者が入っていないところがなり手不足になっているのでは、
今までやってこなかった、気づかなかった
- ・最近のSNS選挙について
自分に近い人を支持⇒世代を超えた支持者必要
SNS選挙は告示日までが勝負、続きはWEBで（シフト動画2分）

第1回 女性の政治参画セミナー
女性が進出しづらい日本の仕組み
～選挙制度・地方議会が抱える課題～

女性参政権行使80年の節目の年、更なる女性の政治参画を進めるために、女性議員を増やすこと、及び安定した活動に向けて、選挙制度や地方議会が抱える課題・障壁を取り除く方策を検証します。
第1回は、現在「女性希望」に「選挙の壁」——ここが家だ、日本の選挙制度——をテーマに、河村和徳さんを講師に迎え、女性が議会へ進出しにくい「壁」になっている選挙制度や地方議会について学びます。
多くの皆さまのご参加をお待ちします。

日時 7/9 13:30-15:30
会場 婦選会館 (東京都港区) / Zoomウェビナー
参加費 会場参加 (税込) 1,650円
オンライン参加 (税込) 1,100円
※会場参加は会場の定員が限られます
お申し込み 当財団・伊よりお申込みください
www.chikawa-fusee.or.jp/activity/1stseminar/

講師 河村和徳 (拓殖大学政経学部教授)
司会 大山礼子 (駒澤大学名誉教授、当財団理事)

主催 (会費) 市川房枝記念会女性と政治センター 〒153-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館
TEL 03-3319-0236 FAX 03-3386-4332 E-mail fchikawa.moushoukai@fchikawa.or.jp URL www.chikawa-fusee.or.jp

2026.5

※多くの課題はあるが、女性議員の進出は公平な社会のためには必須である。
ネットワークを使った世代を超えた支持者に声を届けることが必要。